

**平成 29 年度  
経営発達支援事業評価報告書**

**平成 30 年 6 月**

**川口商工会議所経営発達支援事業評価委員会**

平成30年度経営発達支援事業評価委員会

1. 目的 「小規模事業者の経営の改善発達を支援するための商工会及び商工会連合会並びに商工会議所及び日本商工会議所に対する基本方針（平成二十六年経済産業省告示第二百号）」における「5. 経営発達支援事業の実施に当たって留意すべき事項」の中で、経営発達支援事業の実施に当たり、事業の評価及び見直しをするための仕組みを設けるものとする。その際、定量的な指標及び目標についても、必要に応じて設けるものとする。とされている。

そこで、この事業をより実効性の高いものとするため、伴走型支援事業を所管する経営支援委員会の他、外部有識者を加えて経営発達支援事業評価委員会を設置し、事業評価及び見直し等を検討する。

なお、事業評価を実施するに当たり、経営発達支援計画認定申請ガイドラインにおいて以下の点が示されている。

- ① 事業の評価及び見直しについて、毎年度実施すること
- ② 外部有識者を活用すること
- ③ 事業の評価及び見直しの結果について地域の小規模事業者が常に閲覧可能な状態にするとともに、効果的なPDCAサイクルの構築を図ること

1. 委員

(敬称略)

1		担当副会頭	小林 政 氏	
2	委員長	経営支援委員会委員長	矢 野 剛	
3	副委員長	伴走型支援専門部会部会長	富 田 浩 正	経営支援委員会副委員長
4		同 副部会長	金 井 芳 雄	
5		同	中 原 誠	
6		同	百目鬼 健 司	連携士業団体代表
7		金融・保険・士業部会部会長	関 克 己	
8		専務理事	鈴 木 茂 三	
9	外部有識者	埼玉県よろず支援拠点コーディネータ	野 口 満	

1. 評価事項 平成29年度事業報告

※評価の視点

- 経営発達支援事業の目標の適切性
- 経営状況の分析の目標・手段・項目等の適切性
- 事業計画の策定支援の目標・手段等の適切性
- 策定した計画の実施支援の目標・指導内容・頻度等の有効性
- 需要開拓に寄与する事業の有効性
- 経営発達支援事業の実施体制の適切性など

1. その他 本評価委員会の指摘事項を踏まえ、伴走型支援専門部会部及び経営支援委員会において進捗の管理及び必要な改善等を随時、実施する。

平成29年度経営発達支援計画実施状況

項目・主な計画	実施事業	担当課	実績	目標	主な課題	
1. 地域の経済動向調査に関すること  中小企業景況調査、L OBO調査、ブロックモニター調査、リアルタイム景況調査、ネットモニター調査、川口商工会議所経済レポート	①中小企業景況調査	経営支援課	4	4	○リアルタイム景況調査における調査対象事業者のバランス調整 ○小規模事業者への効果的な情報提供	
	②LOBO調査	経営支援課	12	12		
	③ブロックモニター調査	経営支援課	0	4		
	④ネットモニター・景況感に関する調査	総務広報課	0	6		
	⑤リアルタイム景況調査	経営支援課	4	4		
	⑥川口商工会議所経済レポート	経営支援課	2	2		
	目標		22件	32件		
評価(100%以上:A、80%以上:B、30%以上:C・未満:D)			C			
2. 経営状況の分析に関すること  (1)基本情報・経営意欲等の把握＝やる気度のランク付け1000件  (2)経営分析情報の把握・蓄積＝伴走型支援の対象事業所300件	[基礎データの把握に関する取組]					
	①伴走型支援事業所巡回	全職員	986	1,000	○伴走型支援事業の効果的な周知活動 ○支援目標件数の達成にこだわらず量(件数)から質(成功事例に導く)への転換 ○重点支援事業所300社のニーズ・課題に応じた適正な支援の実施	
	②マル経推薦企業	経営支援課	69			
	③記帳指導先	経営支援課	181			
	④持続化補助金申請事業所	経営支援課	77			
	⑤経営革新計画申請事業所	経営支援課	46			
	⑥創業補助金等申請事業所	経営支援課	12			
	⑦販売力強化支援チーム会議支援事業所	経営支援課	1			
	⑧ものづくりブランド認定企業	経営支援課	11			
	⑨ものづくり補助金申請事業所	経営支援課	8			
	目標		1,391件	1,000件		
	評価		A			
	[経営分析に関する取組]					
	①伴走型支援事業所巡回に基づく経営分析	全職員	181	300		
	②マル経推薦企業	経営支援課	69			
	③持続化補助金申請事業所	経営支援課	77			
	④経営革新計画申請事業所	経営支援課	46			
⑤創業補助金等申請事業所	経営支援課	12				
⑥販売力強化支援チーム会議支援事業所	経営支援課	1				
⑦ものづくり補助金申請事業所	経営支援課	8				
目標		394件	300件			
評価		A				
3. 事業計画策定支援に関すること  創業塾、経営革新塾、事業承継セミナー、補助金説明会等による事業者の掘り起しと、各種事業計画の策定支援	①マル経推薦企業	経営支援課	69	119	○計画経営の啓発活動 ○支援事業所の更なる掘り起し ○事業者の実情に合った経営計画の策定支援	
	②持続化補助金申請事業所	経営支援課	77			
	③経営革新計画申請事業所	経営支援課	46			
	④創業補助金等申請事業所	経営支援課	9			
	⑤ものづくり補助金申請事業所	経営支援課	8			
	目標		209件	119件		
評価		A				
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること  事業計画策定事業所に対する定期的(6か月に1度)のフォローアップ	①持続化補助金申請事業所	経営支援課	28	-	○事業計画策定後の継続的なフォローアップ支援体制の整備	
	②経営革新計画申請事業所	経営支援課	40			
	③創業補助金等申請事業所	経営支援課	8			
	④ものづくり補助金申請事業所	経営支援課	2			
	目標		78件	-		
評価		-				

5. 需要動向調査に関する こと  ネットモニター調査、ウーマノミクス言いたい放題、百貨店等からのヒアリング等	① ネットモニター・需要に関する調査	総務広報課	0	2	○廃止事業を補完する制度・仕組みの検討
	② ウーマノミクス言いたい放題・小規模事業者アイデア提供	総務広報課	0	30	
	③ 百貨店等のヒアリング調査	経営支援課	2	2	
	目標		2件	36件	
	評価		D		
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する こと  (1) 製造業者を対象とした販路開拓支援 ビジネスマッチング、展示会出展、ブランド認定制度等  (2) 商業者を対象とした販路開拓支援 御成姫商標権活用促進、川口まちなかゼミナール、各種広報ツールの活用(キャストビジョン、会報、クーポン冊子)等  (3) 全業種を対象とした販路開拓支援 プレスリリース支援、販売力強化支援チーム支援等	[販路開拓に関する取組]				
	① 広域ビジネス交流会参加事業所	経営支援課	0	389	○各事業を有機的に結び付け、一貫した伴走型小規模事業者支援の実施 ○支援事業を通じた売上拡大等の実効性の向上 ○効果の伴わない事業の検証・改善
	② 受発注商談会参加事業所	経営支援課	5		
	③ 川口市産品フェア出展事業所	経営支援課	27		
	④ インターナショナルギフトショー・彩国ビジネスアリーナ	経営支援課	9		
	⑤ ものづくりマッチングフェア	経営支援課	14		
	⑥ 御成姫商標活用事業所	地域振興課	1		
	⑦ まちゼミ参加事業所	地域振興課	84		
	⑧ キャस्टビジョン放映店舗	業務課	97		
	⑨ 会報・MOVE掲載店舗	総務広報課	86		
	⑩ クーポン冊子掲載店舗	総務広報課	0		
	⑪ プレスリリース支援事業所	経営支援課	24		
	⑫ 販売力強化支援チーム会議支援事業所	経営支援課	1		
	目標		348件	389件	
	評価		B		
	[新たな需要を開拓した事業者]				
	① 広域ビジネス交流会参加事業所	経営支援課	0	-	
	② 受発注商談会参加事業所	経営支援課	2		
	③ 川口市産品フェア出展事業所	経営支援課	1		
	④ インターナショナルギフトショー・彩国ビジネスアリーナ	経営支援課	2		
	⑤ ものづくりマッチングフェア	経営支援課	10		
	⑥ 御成姫商標活用事業所	地域振興課	1		
⑦ まちゼミ参加事業所	地域振興課	84			
⑧ キャस्टビジョン放映店舗	業務課	41			
⑨ 会報・MOVE掲載店舗	総務広報課	0			
⑩ クーポン冊子掲載店舗	総務広報課	0			
⑪ プレスリリース支援事業所	地域振興課	5			
⑫ 販売力強化支援チーム会議支援事業所	経営支援課	0			
目標		146件	-		
評価		-			
7. 地域経済の活性化に資する取組(イベント等実施回数)  ブランド認定制度(展示会)、川口若手ものづくり人材育成事業(特別授業、親子でものづくり体験ツアー等)	① i-monoブランド認定制度	経営支援課	13	4	○メディア活用による発信力強化 ○市外からの需要の取り込み(単なるイベントにとどまらず、経済活性化につながる仕掛け)
	② 若手ものづくり人材育成事業	経営支援課	14	15	
	③ 産業観光PRプロジェクト	地域振興課	7	2	
	④ 元気商品券発行事業	地域振興課	1	1	
	⑤ ジャズフェスティバル	地域振興課・青年部	1	1	
	目標		36件	23件	
評価		A			
8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する こと			A		
9. 経営指導員等の支援能力の向上の 仕組み			B		
10. 支援ノウハウ等を組織内で共有する 体制			B		

## 委員講評

### [全体事業に関する指摘事項]

- 平成27年11月の経営発達支援計画承認を受け、当事業に取り組んでいる。平成29年度は、一部目標クリアとならなかった項目はあるものの、全体として高い実績・成果を上げている。
- 地域商工業者に本事業が浸透するよう、特に成功事例の発信を主に広報活動の一層の強化に努めること。
- 支援先事業所の事業内容・今後の方向性等を精査し、広範な支援メニューから事業所ニーズにマッチした支援事業の提供に努めること。

### [個別項目に関する指摘事項]

#### 1. 地域の経済動向調査に関すること

- リアルタイム景況調査については、小規模事業者の調査対象と業種及び地域のバランスを見直し、より質の高い調査を実施すること。
- 川口商工会議所経済レポートについて、引き続き確実な実施を図ること。
- 平成30年度は小規模事業者への効果的な情報提供に努めること。

#### 2. 経営状況の分析に関すること

- 昨年度、支援目標件数達成にこだわらず量（件数）から質（成功事例へ導く）への転換を図るとしていたが、果たして職員一人一人のスキルアップはできたのか、単に業務過多となっていないか検証すること。
- 経営分析に支障ないように、巡回を期末に集中させず均すこと。

#### 3. 事業計画策定支援に関すること

- 経営革新計画等の策定・承認支援から、補助金申請・採択へのスキームの意義・重要性の周知を図ること。
- 補助金申請と絡め、支援事業所の更なる掘り起しに努めること。

#### 4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

- 事業計画策定後の継続的なフォローアップ支援体制の整備を最重要課題として取り組むこと。

## 5. 需要動向調査に関すること

○昨年度に引き続きD評価項目であり、改善に向けた具体的な対策を講じること。

## 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

○ [新たな需要を開拓した事業所]としては、継続的なフォローアップとして巡回を実施し、紙面アンケートでは聞き取り切れない隠れた受注効果を調査し成果として数字に反映させることで、他社へも含む多面的な販路開拓事業の活用促進を図るよう努めること。

○効果の伴わない事業を検証し、その継続を含め改善を講じること。

## 7. 地域経済の活性化に資する取組に関すること

○メディア活用による発信力強化に努めること。

○市外からの需要の取り込みに努めること。

## 8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

○地区内の多様な支援機関を集めたオール川口支援体制での川口経営支援ネットワーク「チーム・かわビズ」により、多様な経営課題へのきめ細やかな対応を図り、その実績を上げること。

## 9. 経営指導員等の支援能力の向上の仕組み

○職層別のグループ研修を通じスキルアップを図り、それぞれが成功事例を積み上げることで全職員の支援能力の底上げを図ること。

○職員のOJTとして専門家との同行巡回等を積極的に行うこと。

## 10. 支援ノウハウ等を組織内で共有する体制

○定期的な「フォローアップ会議」を開催し、具体的な支援事例の紹介等を通じノウハウや課題等を共有すること。